

1

Amazing Grace

G C G Em A7 Dsus4 D
 驚くばかりの恵みなりき
 G G7 C G Em A7DG
 この身のけがれを 知れるわれに

恵みはわが身のおそれをけし
 負かす心をおこさせたり

危険をもわなをも避けえたるは
 恵みのみわざと言うほかなし

みくにつく朝 いよよ高く
 恵みのみ神を たたえまつらん

【あなたの御前には】

E F#m
 あなたの御前には
 B7 E
 喜びが満ち溢れ

A B7 G#m
 あなたの右には
 F#m B7 E
 楽しみとこしえにある

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り

すべてのことについて感謝しましょう。
 何よりも十字架の愛に感謝しましょう。

2. 悔い改めと主を慕い求める祈り

3. 個人的な願いの祈り

主の御名によって大胆に何でも祈ります

4. とりなしの祈り

病と闘っている方のために今日は祈りましょう。
 入院している方、こころの病と闘っている方、障害を
 持っている方とご家族に何ができるでしょうか？

- (1) 瀬戸カルバリーチャペルのため
 - ・礼拝・祈り会を早く教会でもてるように
 - ・地域の方々に主の平安が届けられますように
 - ・牧師家族のため・ジョイキッズ・次世代のため
- (2) 家族・親族・友人知人・ご近所の方のために
- (3) 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- (4) 新型コロナウイルスの収束と復興のため
 (瀬戸のHPの「いのりの窓口」を参照に)
- (5) 日本のリバイバルと大和カルバリーチャペルのため



キリスト者として生きる
 という事は、この世に属さ
 ずに、この世に生きる、という
 ことです。

ヘンリー・ナウエン

瀬戸カルバリーチャペル

×Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



Suzuki Katana

プラモデル作品 By 深谷浩昭
 外出自粛で久しぶりにプラモデルに挑戦！
 ＊祈りの小径のオリジナル作品を募集中

祈りの小径(こみち)

Number:008 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣
 の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

詩篇16篇8・11節

16:8 わたしは常に主をわたしの前に置く。主がわたしの右にいますゆえ、わたしは動かされることはない。…

16:11 あなたはいのちの道をわたしに示される。あなたの前には満ちあふれる喜びがあり、あなたの右には、とこしえにもろもろの楽しみがある。

ヨハネの第一の手紙3章18～20節

3:16 主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。

3:18 子たちよ。わたしたちは言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実とをもって愛し合おうではないか。

3:19 それによって、わたしたちが真理から出たものであることがわかる。そして、神のみまえに心を安んじていよう。

3:20 なぜなら、たといわたしたちの心に責められるようなことがあっても、神はわたしたちの心よりも大いなるかたであって、すべてをご存じだからである。

ルカによる福音書10章42節

「しかし、無くてならぬものは多くはない。いや、一つだけである。マリヤはその良い方を選んだのだ。そしてそれは、彼女から取り去ってはならないものである」。

3

黙想とこころの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

Q. 主を目の前に置く(詩篇16の8)とは、何をすることだと思えますか？

Q. 主の御前に満ち溢れる喜びを経験したことがありますか？体験談をシェアしてください。

Q. ヨハネの手紙にある、神様の御前で「心を安んじる」とは、どのような約束でしょうか。

Q. 無くてはならない大切なひとつのことを、マリヤは選びました。それは何だったでしょうか？

4

みことばの解説

今回の「祈りの小径」のテーマは、「神(あなた)の御前」という言葉です。この「みまえ」という言葉は、「顔」とも訳せることばで、主のご臨在をあらわします。ですから、詩篇16篇を書いたダビデは、自分の人生の目の前に主を置く生き方をした時、その「あなたの御前」には満ち溢れる喜びがあった！と歌いました。

この詩篇16篇は、教会が誕生したペンテコステの日に、使徒ペテロがメッセージした聖書箇所でもあります。つまり、教会とは、喜びの場所であり、主の御前に皆様が生きるための集まりです。

自粛期間が続き、教会になかなか集えません。画面の向こうのオンライン礼拝で満足できない方もいらっしゃるかもしれません。でも、どんな時どんな場所でも、私たちは「主の御前」に生きることができます。

それどんな生き方かと言えば、(1ヨハネ2章を参照)

- (1) 命を捨ててくださったキリストの愛を知る
- (2) 私たちも行いと真実をもって愛し合う
- (3) 心を安んじて(平安に)生きることができる

詩篇16篇を書いたダビデのような聖書に登場する人を含め、主に用いられた人の共通点は、「神の御前に生きた」ということです。

今週は「主が共にいてくださる」という(受動的に受け止める)約束から一歩進んで、「主をわたしの前に置く」「御前に生きる」ことを目標にしてください。能動的に主を慕い求めてください。なるべく多くの時間、主を意識し、その分、テレビや娯楽、それこそ不要不急の出来事を脇に置いてみましょう。主の御前に座って「なくてはならない一つこと」を選んでみましょう。

箴言10章23節にこうあります、『愚か者は悪だくみを楽しみ、英知ある人は知恵を楽しむ。』あなたは、どんな楽しみのために人生を生きますか？